

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	1	理念については定期的な振り返りが必要	新年度も理念の振り返りの機会を持つ	定期介護の中で定期的に理念の振り返り、評価する機会を持つようにする	12ヶ月
1	4	運営推進会議へ他家族も参加していただくように引き続き働きかける必要がある	運営推進会議に参加していただく家族を増やす	新年度でもあるので、全ご利用者家族様へ働きかけを行う	ヶ月と随時
1	6	人感センサー設置(使用)については、同意を得ているが記録として残しておく必要がある	今後はケアプランにも明記すること、緊急的に必要になった場合には口頭でも同意得たな介護日誌に記録して残す	定期会議で取り上げ、全スタッフで対応の統一を行う	1ヶ月
3	33	終末期支援についてどこまで対応できるかなど具体的な内容が決まっていない	「木綿葉」にできる最良の支援を考える	定期会議では取り上げているが今後は木綿葉全体でも話し合い検討していく	12ヶ月
2	35	非常災害時の訓練(机上でも)、マニュアル見直しを行う必要がある	非常災害時のマニュアル策定・見直しを行う	非常災害マニュアルの振り返り、見直しを行う。グループホームだけでなく木綿葉全体でも行う。	6カ月

5	40	今後も入居者様に楽しい食事支援を継続できるように努める必要がある	現状の維持、向上を目標とする	普段通りの食事風景からでも定期会議などで振り返る機会を持つようにする	3ヵ月
5	43	職員も時にはご入居者の目線で同じトイレを使用することで、使い勝手やトイレ内の環境等新たな気づきが生まれてくると思われる	ご入居者様に迷惑のかからぬ範囲で使用してみたりとスタッフ間で意見交換行なう	定期会議で振り返りを行う、必要あらば環境整備など取り組む	3ヵ月
5	45	入浴設備、備品の見直しを行う必要がある	入浴設備の見直しや入浴気分を高めるような工夫を試してみる	定期会議で振り返りを行う、必要あらば環境整備など取り組む	3ヵ月
済	54	廊下の照明が気になる方の扉に貼られた遮光のための張り紙については、環境の一つとして職員のアイデアや一工夫に期待したい	見直し改善を行う	評価日にご指摘いただき翌日には改善しました	終了

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。